医療要否意見書　別紙記入要領

〇傷病名又は部位欄

主傷病名はすべて記載すること。高額の医療費を要しない副病名に関しては必ずしも記載しなくても良いが、慢性疾患（特に特定疾患療養管理料や特定疾患治療管理料等、各種指導・管理料の対象になる疾患）に関しては必ず記載すること。

〇主要症状及び今後の診療見込に関連する臨床検査結果等欄

各傷病名に対する主症状、直近の具体的な検査値、画像検査結果等を記載すること。すべての症状・検査結果を記載する必要はないが、傷病の状態を表し、医療費の概算が可能となる代表的なもの（例えば、糖尿病であればHba1c値、気管支喘息であれば症状の頻度、悪性疾患であれば画像検査所見等）を**具体的に**記載すること。

内服治療の場合、ジェネリックの使用頻度も増えているため、必ずしも全ての薬剤名を記載する必要はないが、多剤の内服を必要とする場合にはその旨を記載すること。

〇治療見込期間欄

医学的に適切な診療見込み期間を記載すること。福祉事務所が医療券を発行する期間の目安とします。

〇概算医療費欄

実際に要した医療費ではなく概算の医療費を記載すること。

〇福祉事務所への連絡事項欄

患者の具体的な状態（ADLや具体的な認知機能等）、上記事項では判断できないような事柄（衛生状態や栄養状態が良くない、外傷の際の受傷機転等）、福祉事務所が患者に対して指導を行う際の具体的助言（頻回受診の傾向がある、予約通りに受診しない、必要のない注射・処置を求めてくる等）、医療費が高額となる場合の理由（往診・在宅医療が必要、高額な薬剤を使用する、痛みが強く頻回の処置を必要とする等）などを**具体的に**記載すること。